

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		十分なスペースと支援ごとのスペースの使い方の工夫をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1		送迎時でも常に2人以上、指導訓練室に職員配置をしている。 送迎時、職員の出入りがある時に足りないと感じる時がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3		トイレ等すべての室内がバリアフリーになっている。 軽度知的障がいのお子様を通所されているので、すべてバリアフリーである必要はないと思われる。 入口の段差が気になる。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			個別支援・課題への取り組み方法を職員間で共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			保護者のニーズを把握し、より良い支援のため業務改善に心掛けている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		評価の結果を踏まえ日々の活動の様子をホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	1	第三者委員の評価を聞く機会を設けている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			感染予防や災害時の対応や虐待防止また個別支援の内容等の話し合いをしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		中間評価を通して積極的に保護者と面談し支援計画の作成をしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		行動分析をして適宜対応している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		月ごとに活動プログラムや個別で取り組む課題をチームで話し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			季節に応じた活動や個別課題を見直した取り組みになっている。

⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			課題をきめ細かく設定し、常にレベルアップできるプログラムにしている。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		状況に応じた取り組みになっていて活動内容を踏まえた計画になっている。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	3		個々のお子様の利用日の前日に個別活動の準備と集団活動の役割分担を職員間で話し合っている。また、当日の再確認を行っている。 支援開始時に必ずではないが、適宜打ち合わせは行っている。役割分担は支援中も確認し、連携をとりながら進めている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	4		支援記録と連絡ノートへの記入の際、職員間で支援の振り返りを行っている。 パート職員さんとの振り返りをもう少し行っていきたい。 支援終了後に必ずではないが、適宜打ち合わせを行っている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			日々のノートや支援記録を参考にして支援への検証・改善につなげている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			中間評価等を行い保護者に説明した上で支援計画の見直しをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	1		個々の能力に合わせた支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		常に児童発達支援管理責任者が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1		学校との情報共有による調整を図っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				当施設は、重症心身障害施設以外のため該当しない。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	1	日々の活動内容の記録を、こども園等の先生にお渡しして支援内容の共有を行い移行に向けた取り組みをしている。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	1	事例がない。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	5		専門機関との連携を取っているが研修等コロナの為、参加を控えている。オンライン研修を受けている。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	4	コロナの為、交流を控えている。
	㉔	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		4	2	今後参加していきたい。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		日々の連絡ノートや中間評価を通して相互理解を深めている。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4	1	身辺自立(トイレトレーニング・スプーンの持ち方等)に向けたアドバイスをしている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			ご契約時に丁寧に説明をしている。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		送迎時に相談を受けることがあり、必要な助言と支援を行っている。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1		保護者会の開催をして、保護者同士の意見交換の場を設けた。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		子どもや保護者からの相談や申入れには、迅速かつ適切に対応している。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		行事予定を発信している。 HP・SNSも頻繁に更新し活動の様子も配信している。

	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5	1		個人情報の取り扱いを徹底している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			支援方法・課題の取り組み方法を分かり易く説明している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	4	地域住民への招待はない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		各マニュアルを策定し勉強会を開き訓練をしている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2		定期的に避難訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		虐待防止に向けた研修会を定期的で開催している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2	1	身体拘束が必要な児童がいない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		食物アレルギーに関する同意書を契約時に提出して頂いてる。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハット報告書を作成して共有している。